

# 年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時 数	学習のポイント
1	4	集団行動	・「姿勢」「方向変換」 「開列」「列の増減」	6	・基本的な姿勢や方向変換ができる。 ・集団の中の一員として責任ある行動ができる。
		体づくり運動	・体ほぐし運動 ・体力を高めるための運動 ・新体力テスト	8	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
	5	[体育理論]	・スポーツの効果と安全	3	・運動やスポーツを行うことは、心身の発達や社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツを行う際は、健康・安全に留意する必要があることを理解できる。
	6	陸上競技	・短距離走、リレー	8	・自己の最大スピードを高めたり、スピードを生かしたバトンパスでリレーをしたりして、タイムを短縮したり、競走したりできる。
		球技	バドミントン	8	・役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。
7	水泳	・水泳に関する安全指導	2	・水泳の事故防止に関する心得を理解する。	
2	9	器械運動	・マット運動	8	・回転系や巧技系の基本的な技が滑らかにできる。
	10	球技	・ハンドボール	8	・ボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開する。
		[保健分野]	・心身の発達と心の健康	8	・心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達すること、心の健康を保持増進する方法について理解することができる。
	11	球技	・ソフトボール	8	・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する。
12	陸上競技	・長距離走	6	・運動直後の心拍数を計ることにより、運動による自分の身体の変化を体感することができる。	
3	1	球技	・卓球	8	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開する。
		[保健分野]	・心身の発達と心の健康	8	・心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達すること、心の健康を保持増進する方法について理解することができる。
	2	球技	・サッカー	8	・ボール操作と空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開することができる。
	3	武道	・剣道	8	・相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開すること。